地域子ども・子育て支援事業の量の見込みについて（第2期計画）【案】

■地域子ども・子育て支援事業について、量の見込み案を整理しました。

事業		檀原市の該当事業
1. 利用者支援事業	子ども又はその保護者の身近な場所で、教育・保育施設や地域の子育て支援事業等の情報提供及び必要に応じ相談・助言等を行うとともに、関係機関との連絡調整等を実施する事業。	子育て総合窓口、妊産婦・乳幼児相談窓口
2. 時間外保育事業（延長保育事業）	保育認定を受けた子どもについて、通常の利用日及び利用時間以外の日及び時間において、認定こども園、保育所等において保育を実施する事業。	延長保育事業
3. 放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）	保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童について、放課後に適切な遊び及び生活の場を与え、健全育成を図る事業。	放課後児童クラブ
4. 子育て短期支援事業	保護者の疾病等の理由により家庭において養育を受けることが一時的に困難となった児童について、児童養護施設等に入所させ、必要な保護を行う事業（短期入所生活援助事業（ショートステイ事業）及び夜間養護等事業（トワイライトステイ事業））。	子育て短期支援利用事業（ショートステイ）
5. 乳児家庭全戸訪問事業	生後4か月までの乳児のいる全ての家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供や養育環境等の把握を行う事業。	こんにちは赤ちゃん訪問
6. 養育支援訪問事業	養育支援が特に必要な家庭に対して、その居宅を訪問し、養育に関する指導・助言等を行うことにより、当該家庭の適切な養育の実施を確保する事業。	養育支援訪問事業
7. 地域子育て支援拠点事業	乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行う事業。	地域子育て支援拠点事業（こども広場、子育て支援センター）
8. 一時預かり事業	家庭において保育を受けることが一時的に困難となった乳幼児について、主として昼間において、認定こども園、幼稚園、保育所、地域子育て支援拠点その他の場所において、一時的に預かり、必要な保護を行う事業。	市立・私立幼稚園での預かり保育
		市立保育所・私立保育園・こども広場での一時預かり事業
9. 病児保育事業	病児について、病院・保育所等に付設された専用スペース等において、看護師等が一時的に保育等する事業。	病児保育事業

10. 子育て援助活動 支援事業	乳幼児や小学生等の児童を有する子育て中の保護者を会員として、児童の預かり等の援助を受けることを希望する者と当該援助を行うことを希望する者との相互援助活動に関する連絡、調整を行う事業。	ファミリー・サポート・センター事業
11. 妊婦健康診査	妊婦の健康の保持及び増進を図るため、妊婦に対する健康診査として、①健康状態の把握、②検査計測、③保健指導を実施するとともに、妊娠週数に応じた医学的検査を実施する事業。	妊婦一般健康診査

1. 利用者支援事業 … 樺原市該当事業：新規事業

■現在、子育て世代包括支援センターの枠組みの中で、基本型として「子育て総合窓口」が市役所分庁舎に1か所、母子保健型として「妊産婦・乳幼児相談窓口」が市役所分庁舎に1か所、保健福祉センターに1か所の、計3か所を設置しています。

今回採用予定の量の見込み案

事業	実績				量の見込み				
	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
利用者支援事業 (か所)	1	1	3	3	3	3	3	3	3
基本型・特定型 (か所)	1	1	1	1	1	1	1	1	1
母子保健型(か所)	0	0	2	2	2	2	2	2	2

今後も、現在と同じ体制で継続する予定であるため、上記のように見込んでいます。

2. 時間外保育事業（延長保育事業） … 樺原市該当事業：延長保育事業

第1期計画の見込みと実績の比較

前回は、平成27年度以降の「保育所等」における「2号（保育）」と「3号」の量の見込みの合計値に、平成23～25年度の保育所等利用者に占める時間外保育事業利用者の割合（17.0%）を乗じて、量の見込みを算出しました。

	量の見込み				
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
前回の量の見込み(人)	440	434	426	412	402
実績(人)	606	501	535	486	(未)

今回採用予定の量の見込み案

■時間外保育事業は保育所等の在園児が利用するものであることから、前回と同様、令和2年度以降の「保育所等」における「2号（保育）」と「3号」の量の見込みの合計値に、平成27～30年度の保育所等利用者に占める時間外保育事業利用者の平均割合（22.8%）を乗じて、量の見込みを算出しました。

事業	実績				量の見込み				
	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
時間外保育事業(人)	606	501	535	486	565	567	568	568	569

3. 放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）

第1期計画の見込みと実績の比較

今回は、アンケート結果より就学児童（小学生）の平日における放課後児童クラブの利用意向率により「途中経過」の数値を計算しました。

更に、放課後児童クラブは「就労などによって保護者が昼間家庭にいない」就学児童を対象としていることから、就学児童のうち保育の必要性のある家庭の割合（70.9%）を「途中経過」の数値に乗じて、「前回の量の見込み」とおりの量の見込みを算出しました。

	量の見込み				
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
途中経過(人)	1,464	1,436	1,425	1,449	1,421
前回の量の見込み(人)	1,037	1,016	1,008	1,025	1,006
低学年(1～3年生)	772	753	745	762	748
高学年(4～6年生)	265	263	263	263	258
実績(人)	957	1,029	1,136	1,239	(未)

今回採用予定の量の見込み案

※現在集計中の利用継続調査の結果により変更可能性あり

- 平成27～30年度における利用実績及び令和元年度当初登録数の5年間における伸び率の平均(7%増)と、各児童クラブの学年ごとの利用率を人口推計に乗じて算出しました。
- また、可能な限り学年ごとの量の見込みを算出することが求められていることから、上記において算出された数値に、直近(平成31年度)における各学年の利用割合を乗じて算出しました。

事業	実績				量の見込み				
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
合計(人)	957	1,029	1,136	1,239	1,347	1,290	1,267	1,259	1,221
低学年(1～3年生)	—	—	—	—	1,032	986	967	957	931
1年生	—	—	—	—	392	369	353	372	344
2年生	—	—	—	—	317	328	318	299	314
3年生	—	—	—	—	323	289	296	286	273
高学年(4～6年生)	—	—	—	—	315	315	304	300	302
4年生	—	—	—	—	152	154	145	146	141
5年生	—	—	—	—	91	88	92	89	85
6年生	—	—	—	—	72	62	63	67	64

4. 子育て短期支援事業 … 檀原市該当事業：子育て短期支援利用事業（ショートステイ）

第1期計画の見込みと実績の比較

前回は、実績を踏まえて量の見込みを算出しました。

	量の見込み				
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
前回の量の見込み(人日)	86	106	126	146	166
実績(人日)	70	161	288	259	(未)

今回採用予定の量の見込み案

■平成28～30年度の対象年齢人口に占める利用率（平均）を推計人口に乗じて算出しました。

事業	実績				量の見込み				
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
子育て短期支援事業（ショートステイ）(人日)	70	161	288	259	228	224	220	215	211

5. 乳児家庭全戸訪問事業 … 檀原市該当事業：こんにちは赤ちゃん訪問

第1期計画の見込みと実績の比較

■前回は、国の基本指針の「出生数等を勘案して、計画期間における適切と考えられる目標事業量を設定すること」という記載を踏まえ、訪問率を100%に想定し、0歳児の推計児童数を量の見込みとして設定しました。

	量の見込み				
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
前回の量の見込み(人)	991	966	944	927	911
実績(人)	970	940	956	907	(未)

※実績については、当該年度中に訪問を実施した実人数を記載。

今回採用予定の量の見込み案

■前回と同様に、訪問率を100%に想定し、0歳児の推計児童数を量の見込みとして設定しました。

事業	実績				量の見込み				
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
乳幼児家庭全戸訪問(人)	970	940	956	907	927	908	889	870	851

6. 養育支援訪問事業 … 橿原市該当事業：養育支援訪問事業

第1期計画の見込みと実績の比較

前回は、実績を踏まえて量の見込みを算出しました。

	量の見込み				
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
前回の量の見込み(延べ人数)	200	210	220	230	240
実績(延べ人数)	93	155	90	113	(未)

今回採用予定の量の見込み案

■平成27～30年の対象児童人口に占める利用率(平均)を推計人口に乗じて算出しました。

事業	実績				量の見込み				
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
養育支援訪問事業(延べ人数)	93	155	90	113	107	105	103	101	99

7. 地域子育て支援拠点事業 … 橿原市該当事業：地域子育て支援拠点事業(こども広場、子育て支援センター)

第1期計画の見込みと実績の比較

前回は、実績を踏まえて量の見込みを算出しました。

	量の見込み				
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
前回の量の見込み(人回/年)	20,923	20,413	19,917	19,481	19,107
実績(人回/年)	17,709	17,534	17,489	17,089	(未)

今回採用予定の量の見込み案

■平成27～30年度の対象年齢人口に占める利用率(最大値)を推計人口に乗じて算出しました。

事業	実績				量の見込み				
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
地域子育て支援拠点事業(人回/年)	17,709	17,534	17,489	17,089	17,305	16,952	16,599	16,246	15,893

8. 一時預かり事業 … 橿原市該当事業：市立・私立幼稚園・私立認定こども園での預かり保育

市立保育所・私立保育園・私立認定こども園こども広場での一時預かり事業

「一時預かり事業」とは、家庭において保育を受けることが一時的に困難となった乳幼児について、主として昼間において、認定こども園、幼稚園、保育所、地域子育て支援拠点その他の場所において、一時的に預かり、必要な保護を行う事業をいいます。

量の見込みは、「幼稚園等の預かり保育」（幼稚園等における在園児を対象に、通常の保育時間終了後に引き続き預かり保育を行う事業）と、「その他の一時預かり事業」（家庭で保育が困難な場合に一時的に子どもを預かる事業）の、2つに分けて算定しています。

1) 幼稚園等における在園児の預かり保育

… 橿原市該当事業：市立・私立幼稚園・私立認定こども園での預かり保育

第1期計画の見込みと実績の比較

前回は「国の算出方法」により、「1号」（保育の必要性のない家庭の方のうち一時預かり事業の利用意向がある方と、現在定期的に幼稚園等を利用し、かつ一時預かりや幼稚園の預かり保育等を利用している方の割合と、その利用日数見込み）による量の見込みと、「2号（教育）」（保育の必要性のある家庭は100%利用するものと想定し、その就労日数分）による量の見込みを合計して算出しました。

	量の見込み				
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
前回の量の見込み(人日)	36,563	36,383	35,876	34,389	33,544
(Aのうち、1号による利用)	10,708	10,655	10,507	10,071	9,824
(Aのうち、2号による利用)	25,855	25,728	25,369	24,318	23,720
実績(人日)	25,753	27,208	25,271	22,753	(未)
うち、私立幼稚園	6,723	8,264	6,567	7,483	(未)

今回採用予定の量の見込み案

■ 平成27～30年度の対象年齢人口に占める利用率（平均）を推計人口に乗じて算出しました。

幼稚園等の預かり保育 (人日)	実績				量の見込み				
	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
幼稚園等の預かり保育 (人日)	25,753	27,208	25,271	22,753	23,752	23,320	22,887	22,455	22,022

2) その他の一時預かり事業（幼稚園等の預かり保育以外）

…樫原市該当事業：市立保育所・私立保育園・私立認定こども園・こども広場での一時預かり事業

第1期計画の見込みと実績の比較

前回は、アンケート調査より0～5歳児の保育の必要性のない家庭類型について、「一時預かり事業を利用する必要がある」と回答し、かつ「日常的に子どもの面倒をみてもらえる親族や知人がいない」と回答した人の割合と、その平均利用日数（1年あたり）から算出した数値より、「幼稚園等の預かり保育」や「ベビーシッター」等を使われる方を除き、算出しました。

	量の見込み				
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
前回の量の見込み(人日)	20,098	19,707	19,280	18,761	18,375
実績(人日)	5,304	6,189	7,139	7,002	(未)
市立保育所・私立保育園 ・私立認定こども園	4,965	5,785	6,717	6,540	(未)
こども広場	339	404	422	462	

今回採用予定の量の見込み案

■平成27～30年度の対象年齢人口に占める利用率（最大値）を推計人口に乗じて算出しました。

	実績				量の見込み				
	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
その他の一時預かり 事業(人日)	5,304	6,189	7,139	7,002	6,995	6,861	6,728	6,594	6,461

9. 病児保育事業 … 橿原市該当事業：病児保育事業

第1期計画の見込みと実績の比較

前回は、アンケート調査より0～5歳児の保育の必要性のある家庭で、かつ「日常的、または、緊急時・用事があるときに子どもの面倒をみてもらえる親族や知人がいない」と回答した方について、病気や怪我により幼稚園等や保育所等が利用できなかった場合の対処法として「病児保育事業等を利用した」、または「保護者が休んで対応したが、今後利用したい」と回答した方の利用意向から算出しました。

	量の見込み				
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
前回の量の見込み(人日)	446	439	431	417	408
実績(人日)	404	476	429	385	(未)

今回採用予定の量の見込み案

■平成27～30年度の対象年齢人口に占める利用率（最大値）を推計人口に乗じて算出しました。

事業	実績				量の見込み				
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
病児保育事業(人日)	404	476	429	385	448	441	434	427	420

10. 子育て援助活動支援事業 … 橿原市該当事業：ファミリー・サポート・センター事業

第1期計画の見込みと実績の比較

前回は、実績を踏まえて量の見込みを算出しました。

	量の見込み				
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
前回の量の見込み(人日)	450	489	527	566	605
実績(人日)	392	465	314	359	(未)

今回採用予定の量の見込み案

■平成27～30年度の対象年齢人口に占める利用率（最大値）を推計人口に乗じて算出しました。

事業	実績				量の見込み				
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
子育て援助活動支援事業(人日)	392	465	314	359	440	435	429	424	418

11. 妊婦健康診査 … 橿原市該当事業：妊婦一般健康診査

第1期計画の見込みと実績の比較

国の基本指針には「厚生労働大臣が定める望ましい基準及び妊娠の届出件数を勘案して設定」という記載があるため、妊娠届を提出された方の受診率を100%と想定し、以下のように次年度の0歳児の推計児童数から量の見込みを算出しました。

- ① 「出生数・妊娠届出数比」 = 「該当年度の妊娠届出数（人）」 ÷ 「次年度の出生数（人）」
 ② 「次年度の推計児童数（人）」 × 「平成23～25年度平均の出生数・妊娠届出数比」
 = 「該当年度の量の見込み（人）」

	量の見込み				
	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
前回の量の見込み(人)	1,043	1,020	1,001	984	968
実績(人)	1,621	1,533	1,505	1,475	(未)

今回採用予定の量の見込み案

■ 前回の算定方法を踏まえつつ、「妊娠届出数」ではなく、「該当年度の妊婦健康診査受診数」と「次年度の出生数（0歳児の人口）」との比率から量の見込みを算出しました。

量の見込みの算定

- ① 「出生数・妊婦健康診査受診数比」
 = 「該当年度の妊婦健康診査受診数（人）」 ÷ 「次年度の出生数（人）」

- ・ 平成28年度の出生数・妊婦健康診査受診数比
 = 平成28年度の妊婦健康診査受診数（1,533人） ÷ 平成29年度の出生数（905人） = 1.69
- ・ 平成29年度の出生数・妊婦健康診査受診数比
 = 平成29年度の妊婦健康診査受診数（1,505人） ÷ 平成30年度の出生数（894人） = 1.68
- ・ 平成30年度の出生数・妊婦健康診査受診数比
 = 平成30年度の妊婦健康診査受診数（1,475人） ÷ 平成31年度の推計出生数（893人） = 1.65
- ・ 平成28～30年度平均の出生数・妊婦健康診査受診数 = 1.67

- ② 「次年度の推計児童数（人）」 × 「平成28～30年度平均の出生数・妊婦健康診査受診数比（1.67）」
 = 「該当年度の量の見込み（人）」

事業	実績				量の見込み				
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
妊婦健康診査(人)	1,621	1,533	1,505	1,475	1,516	1,485	1,453	1,421	1,389